

Well-Being指標アンケートに関する報告書

目次

1	概要表・全国調査結果	-----	P.3~15
2	個別アンケート実施	-----	P.16~25

1 概要表・全国調査結果

P.3~15

2 個別アンケート実施

P.16~25

福島県

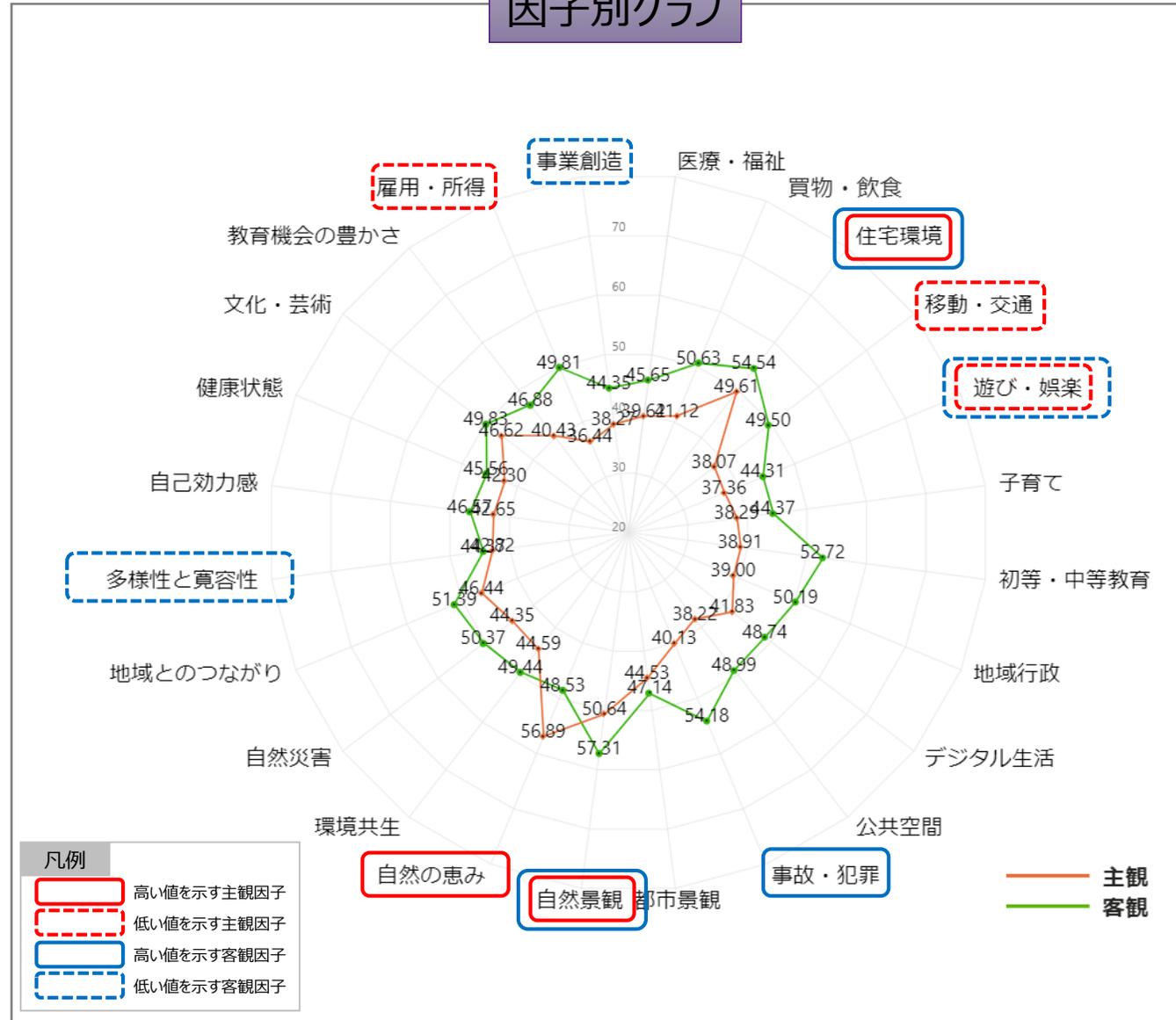
概要

人口	1,766,912	高齢化率	33.3%
可住地人口密度	428.3人/km ²	昼夜間人口比率	100.1%
都市の特徴・ 周辺地域との 関わり	東北地方の最南端に位置し、東は太平洋に面する海岸線で、南は茨城・栃木の両県、西南の一部が群馬県、西は大部分を新潟県、北を宮城・山形の両県に隣接している。県土面積は北海道、岩手県に次いで全国第3位の広さを有する。		
将来都市像	「ひと」「暮らし」「しごと」が調和しながらシンカ（深化、進化、新化）する豊かな社会		

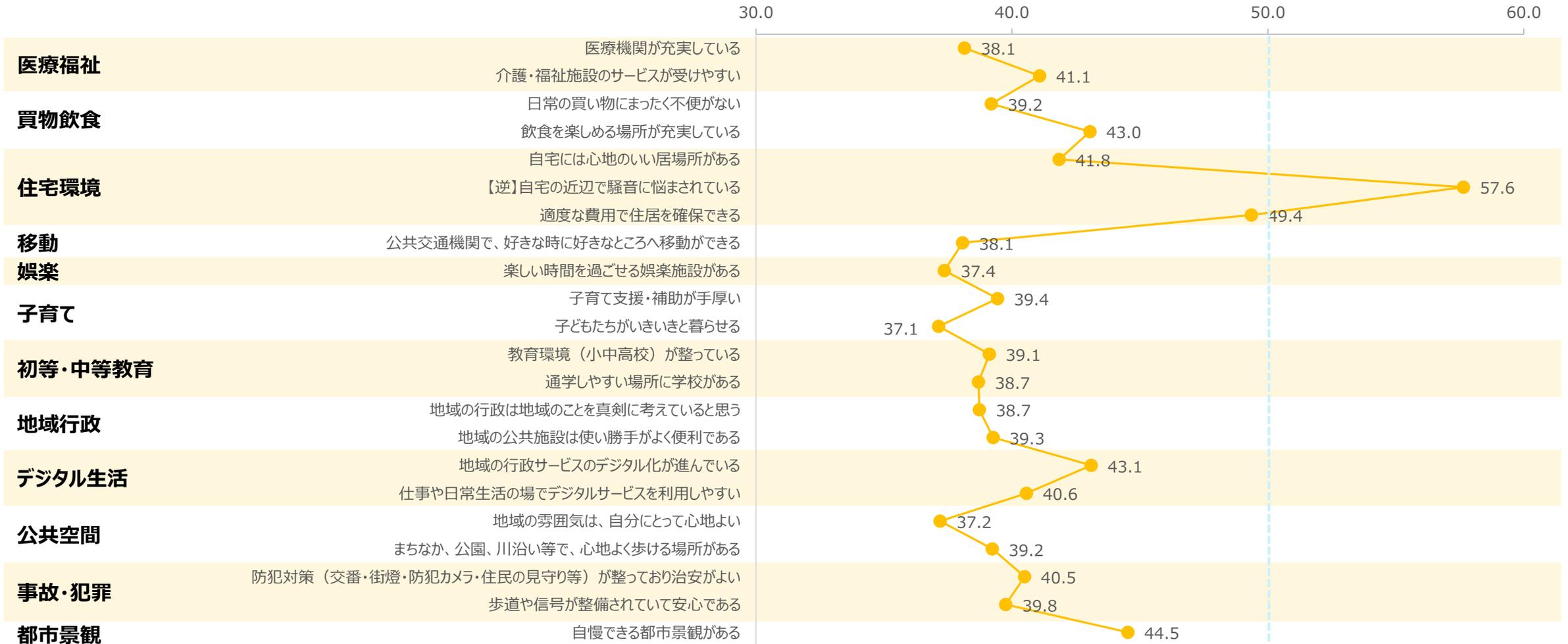
サマリー

- 主観因子のうち、「自然の恵み」（56.86）が最も高く、次いで「自然景観」（50.64）が高い。豊かな自然に恵まれた環境への県民の満足度が高い。
- 客観因子においては、「事業創造」、「子育て」、「健康状態」といった指標が低値である。雇用創出、子育て支援の充実、健康支援の充実等、各分野での取組が求められている。
- 「地域行政」及び「自然災害」は、客観因子としては偏差値50を上回り高い値を示すものの主観因子としては低い値であることから、施策が浸透していない、あるいは行政や防災に対し関心が低い状況と考えられる。今年度整備する県民向けポータルサイト・アプリの整備により、行政手続きサービス・防災サービスがより県民に身近なものとなることが期待される。

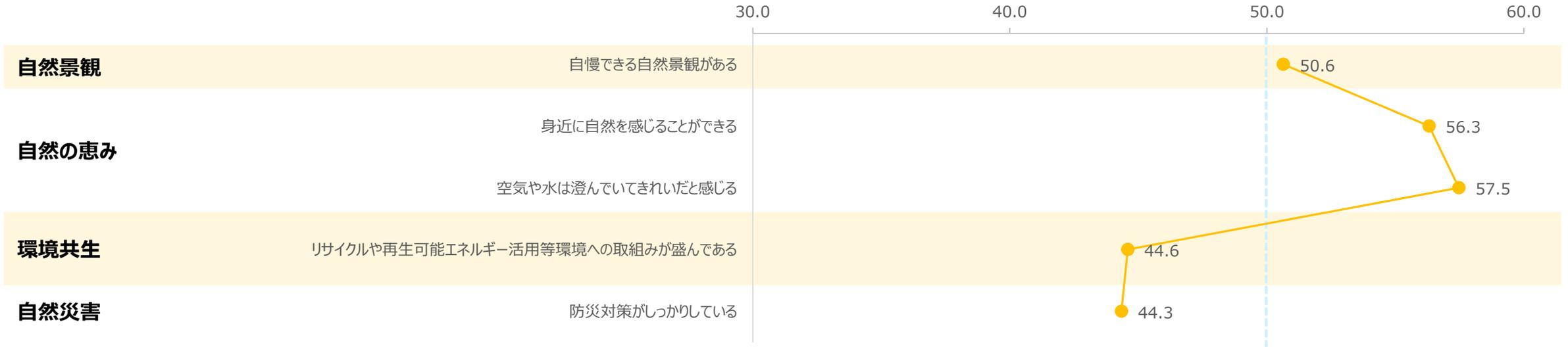
因子別グラフ



福島県における主観データ詳細 生活環境 (都市環境)



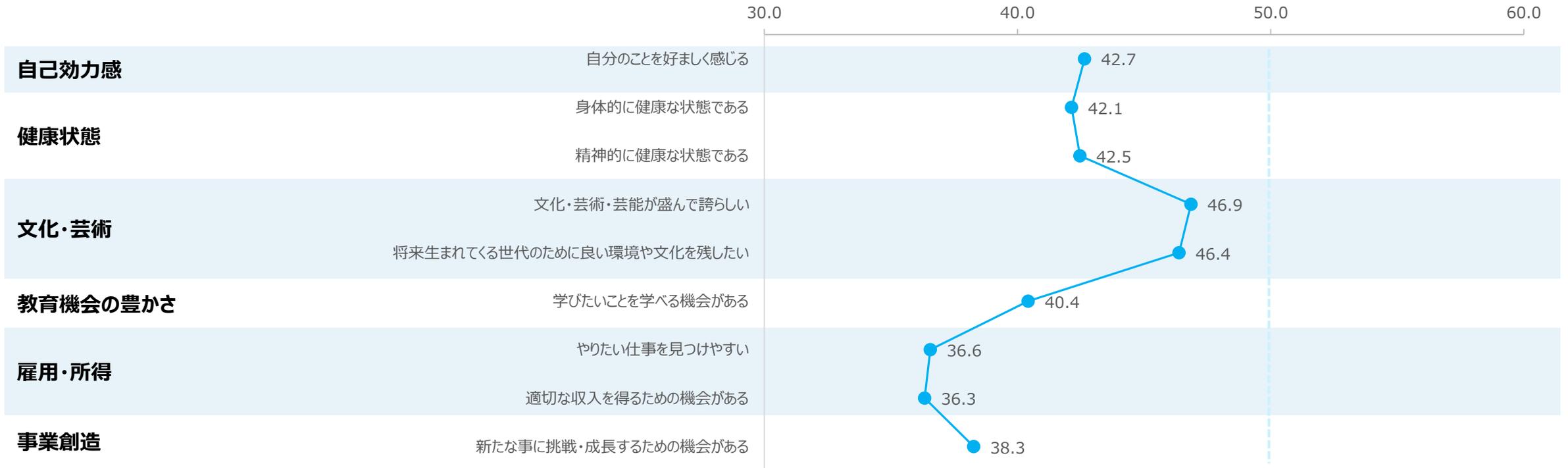
福島県における主観データ詳細 生活環境 (自然環境)



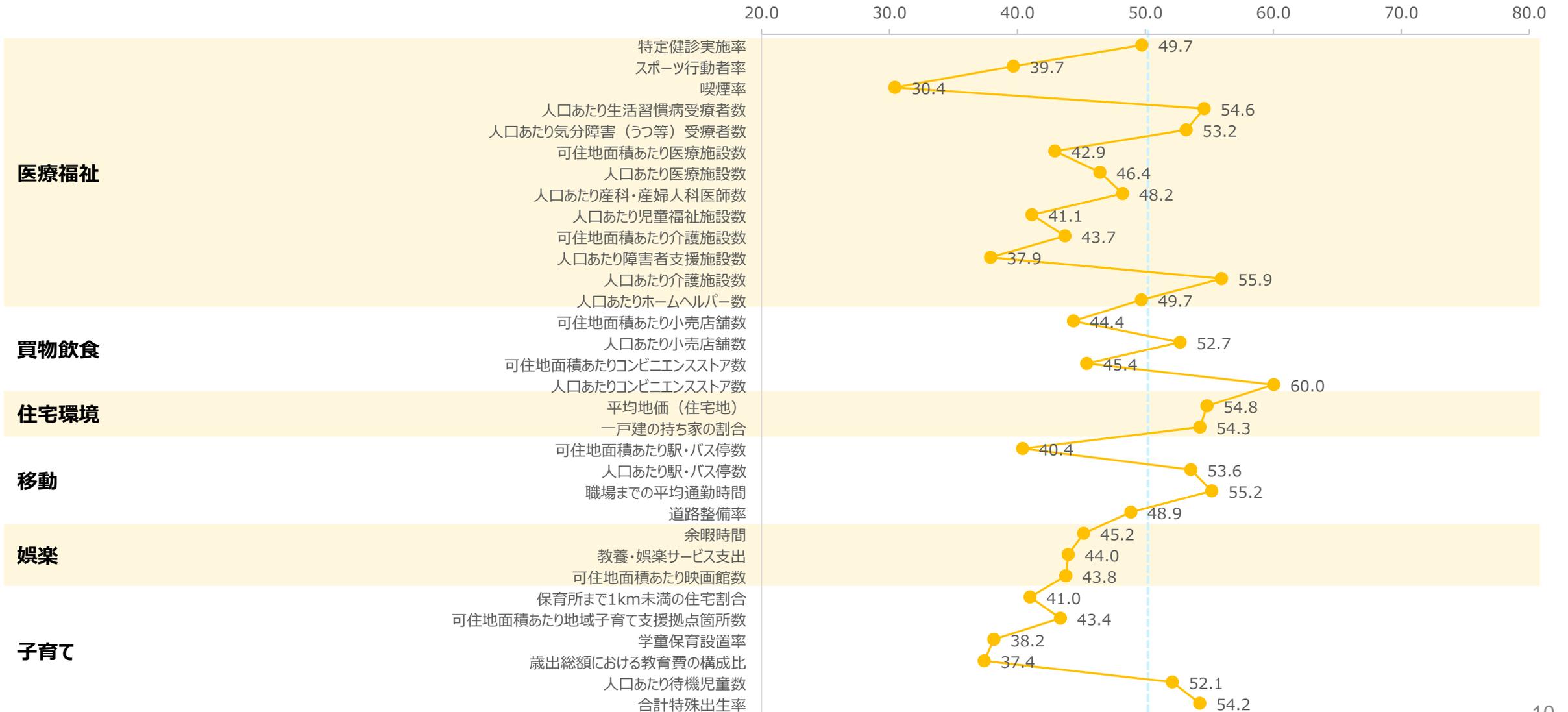
福島県における主観データ詳細 地域の人間関係



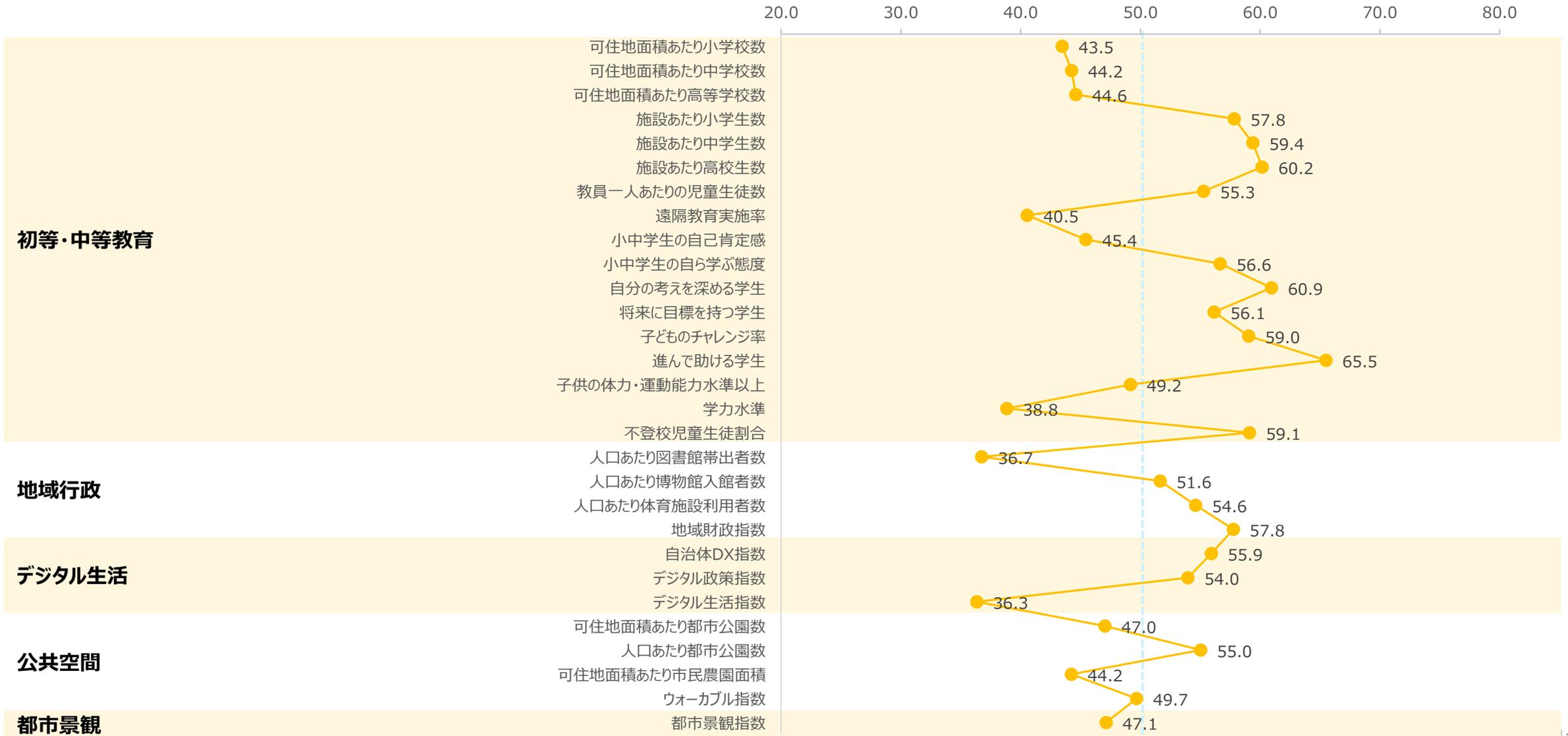
福島県における主観データ詳細 自分らしい生き方



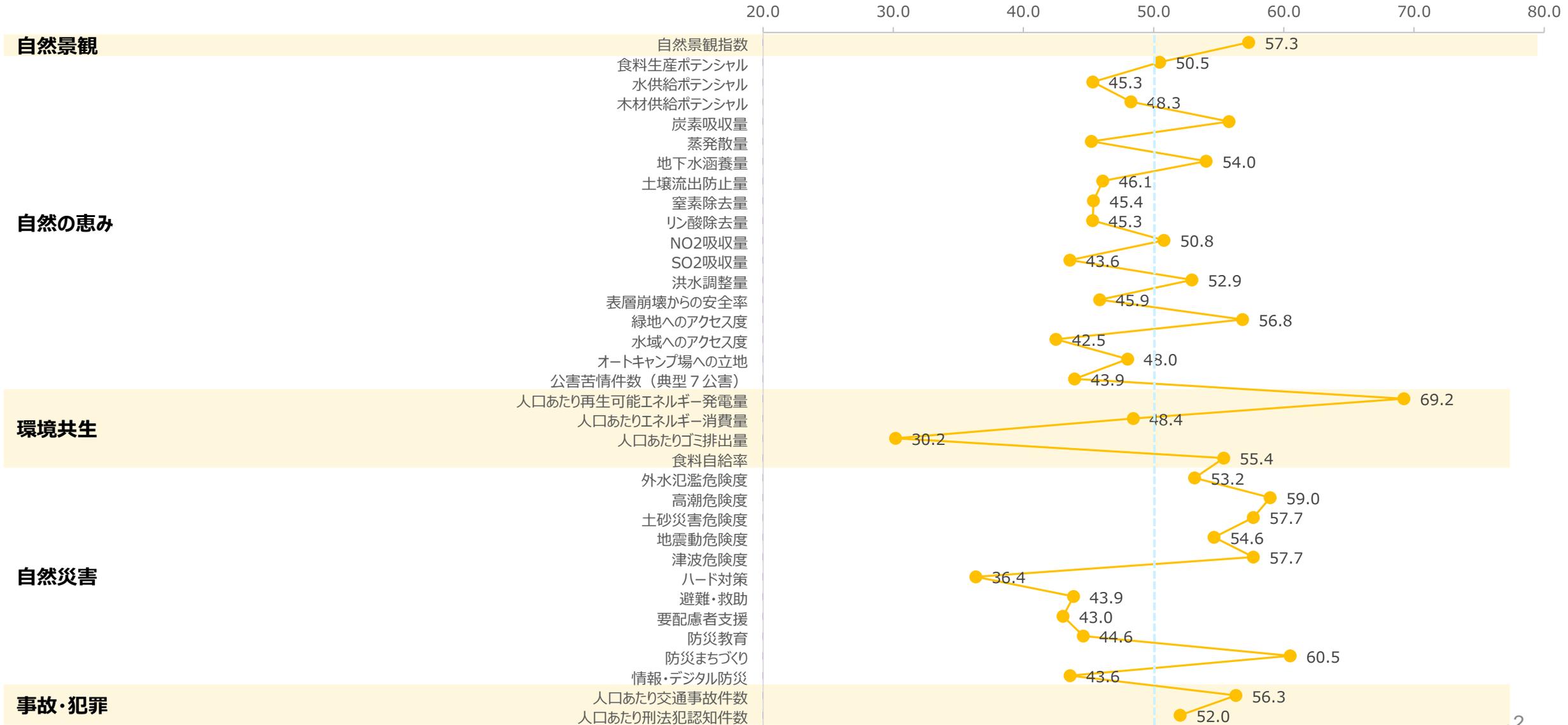
福島県における客観データ詳細 生活環境 1/3



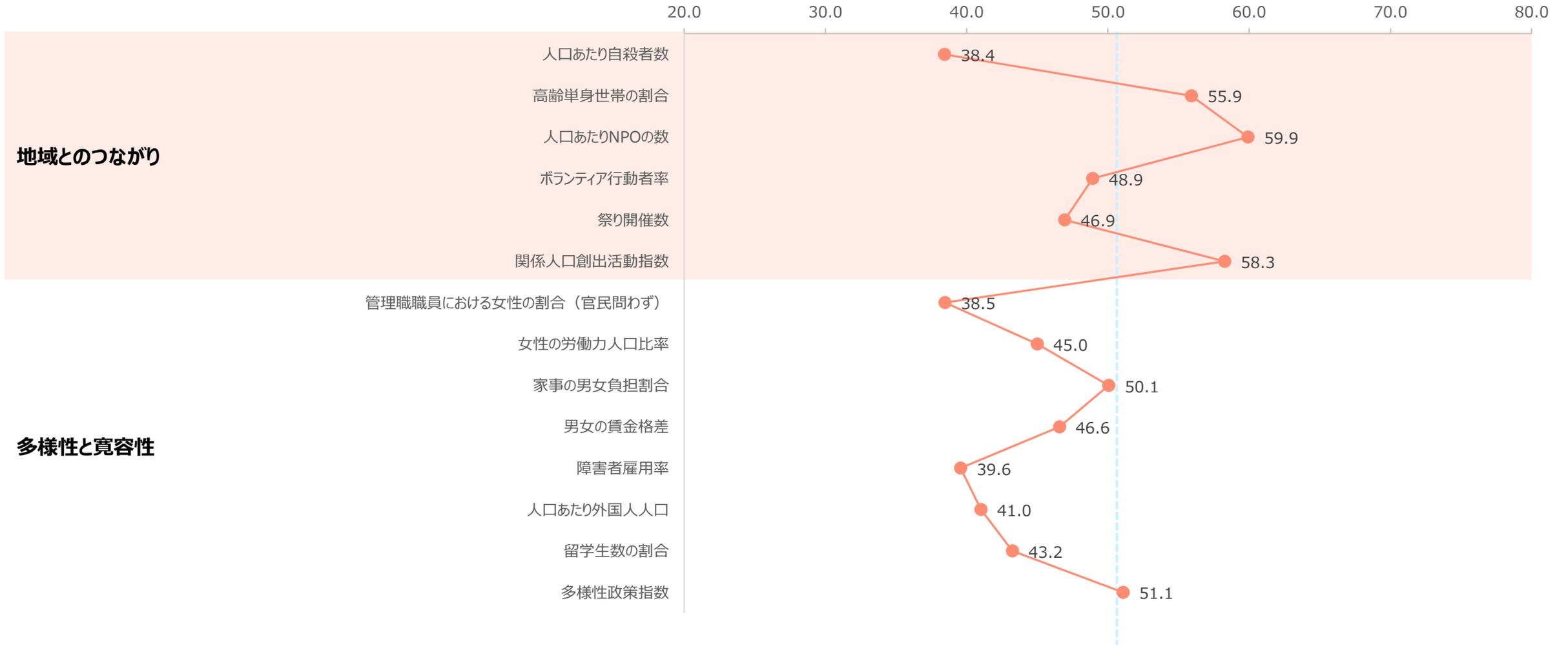
福島県における客観データ詳細 生活環境 2/3



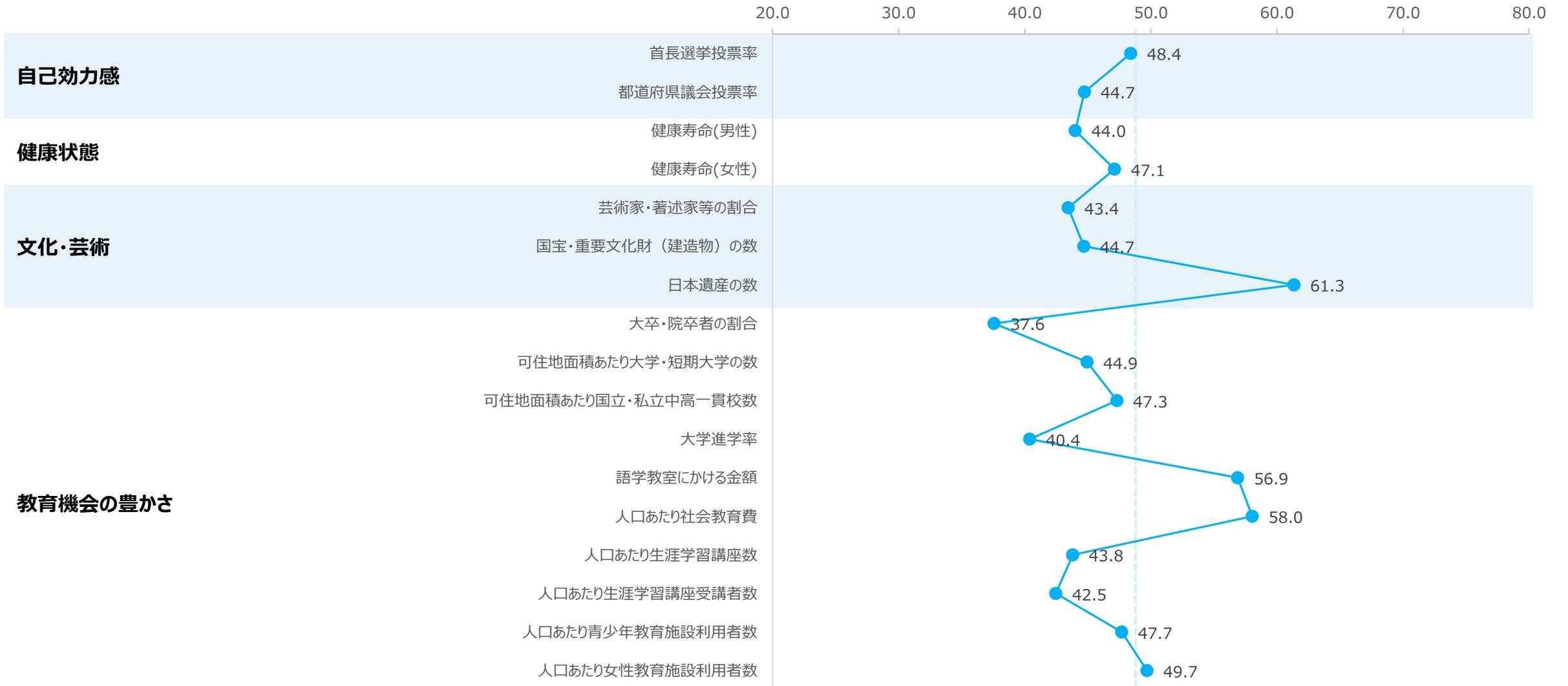
福島県における客観データ詳細 生活環境 3/3



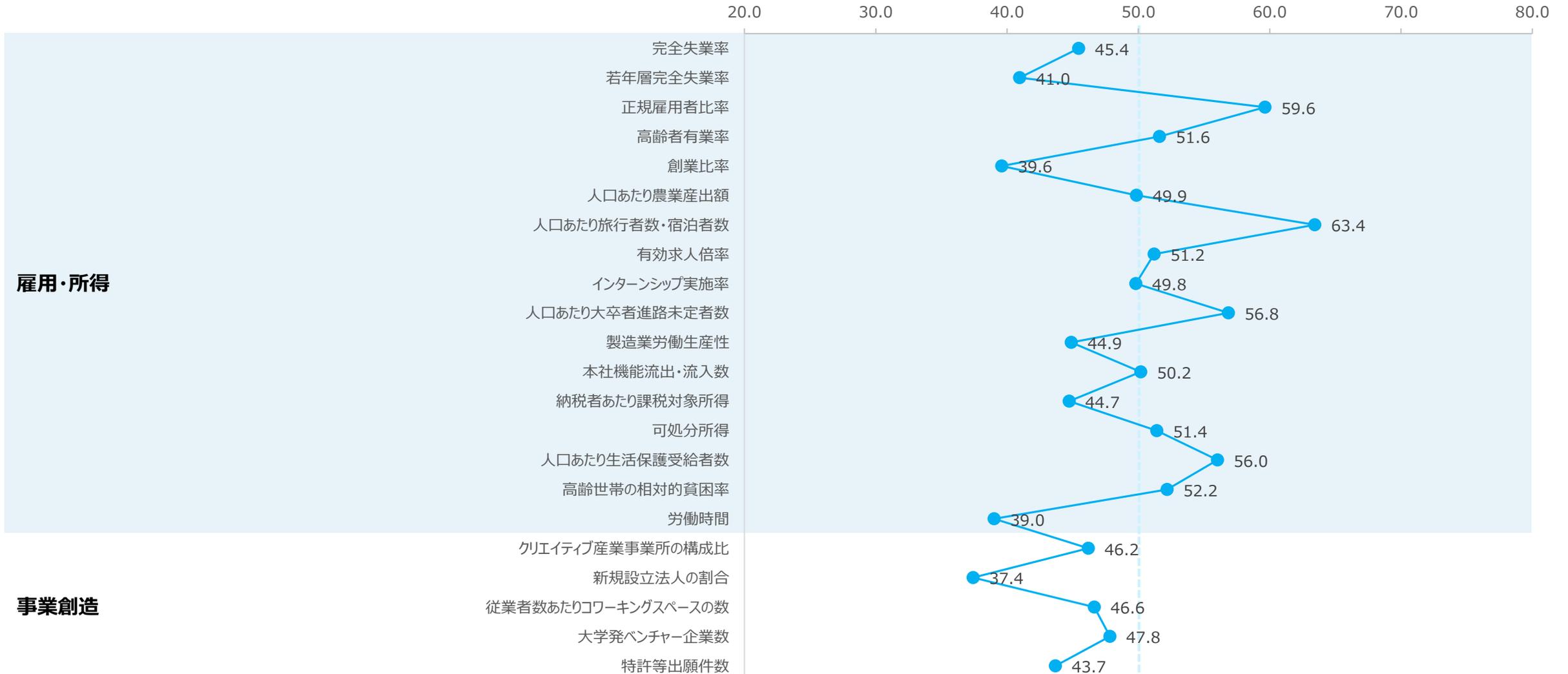
福島県における客観データ詳細 地域の人間関係



福島県における客観データ詳細 自分らしい生き方 1/2



福島市における客観データ詳細 自分らしい生き方 2/2



1 概要表・全国調査結果

P.3~15

2 個別アンケート実施

P.16~25

2. 個別アンケート実施

福島県におけるアンケート項目

デジタル庁（SCI）が設定している全50問の標準設問に、福島県で今年度接続する2つの共通サービスに関連する6問の独自設問を加えてアンケートを設計。

デジタル庁（SCI）標準設問

福島県独自設問

主観（ウェルビーイング）評価指標 ～ 全50問

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

生活環境（16）

- 医療・福祉（2）**
 - 医療機関が充実している（利便性）
 - 介護・福祉施設のサービスが受けやすい
- 買物・飲食（2）**
 - 日常の買い物に全く不便がない（利便性）
 - 飲食を楽しめる場所が充実している
- 住宅環境（3）**
 - 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
 - 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている（秩序）
 - 適度な費用で住居を確保できる
- 移動・交通（1）**
 - 公共交通機関で好きなときに好きなところへ移動ができる
- 遊び・娯楽（1）**
 - 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある
- 子育て（2）**
 - 子育て支援・補助が手厚い
 - 子どもたちがいきいきと暮らせる
- 初等・中等教育（2）**
 - 教育環境（小中学校）が整っている
 - 通学しやすい場所に学校がある
- 地域行政（2）**
 - 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
 - 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）
- デジタル生活（2）**
 - 行政サービスのデジタル化が進んでいる
 - 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい
- 公共空間（2）**
 - 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
 - まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある
- 都市景観（1）**
 - 自慢できる都市景観がある
- 自然景観（1）**
 - 自慢できる自然景観がある
- 自然の恵み（2）**
 - 身近に自然を感じることができる（自然）
 - 暮らしている地域で、防犯対策がしっかりしている（自然）
- 環境共生（1）**
 - リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである
- 自然災害（1）**
 - 暮らしている地域では、防犯対策がしっかりしている。
- 事故・犯罪（2）**
 - 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
 - 歩道や信号が整備されていて安心である

地域の人間関係（2）

- 地域とのつながり（5）**
 - 私は同じ町内に住む人たちを信頼している（社会関係資本）
 - 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
 - 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
 - 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動）
 - このまちに愛着を持っている（一体感）
- 多様性と寛容性（5）**
 - 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
 - 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
 - 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）
 - 女性が活躍しやすい
 - 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方（6）

- 自己効力感（1）**
 - 自分のことを好ましく感じる（一体感）
- 健康状態（2）**
 - 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
 - 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 文化・芸術（2）**
 - 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
 - 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）
- 教育機会の豊かさ（1）**
 - 学びたいことを学べる機会がある
- 雇用・所得（2）**
 - やりたい仕事を見つけやすい
 - 適切な収入を得るための機会がある
- 事業創造（1）**
 - 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）



行政手続サービス関連

デジタル（スマートフォン、パソコン等）で行政手続きを行った

デジタルによる行政サービスは便利だと思う

災害への備えに、防災アプリを活用している

自分の暮らす地域は、自然災害や大規模な火災などに対して安心して暮らせる災害に強い地域だ

大規模災害に備えて、避難所の確認や食料の備蓄などを行っている

災害に備えて、自分（自宅）の避難計画を作成している

防災アプリサービス関連

出典：地域幸福度（Well-Being）指標利活用ガイドブック

個別アンケート 実施概要

調査地域	<ul style="list-style-type: none">• 福島県
実施期間	<ul style="list-style-type: none">• 2023年12月11日（月）～2023年12月26日（水）
実施方法	<ul style="list-style-type: none">• Webアンケート（設問数56問）
回答者数	<ul style="list-style-type: none">• 904人（10代～70代）

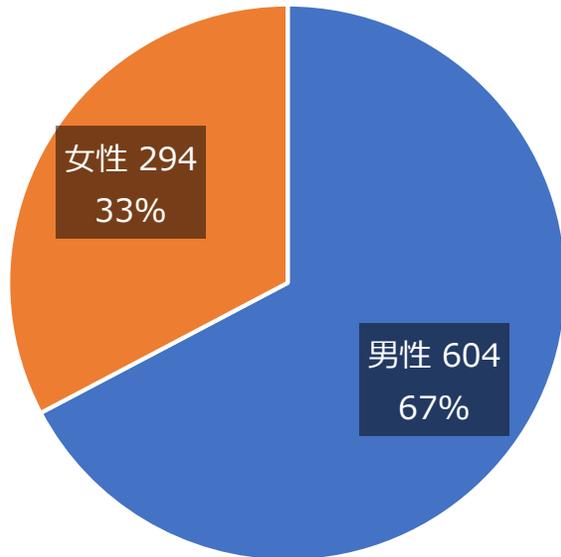
2. 個別アンケート実施

個別アンケート 回答者数・属性

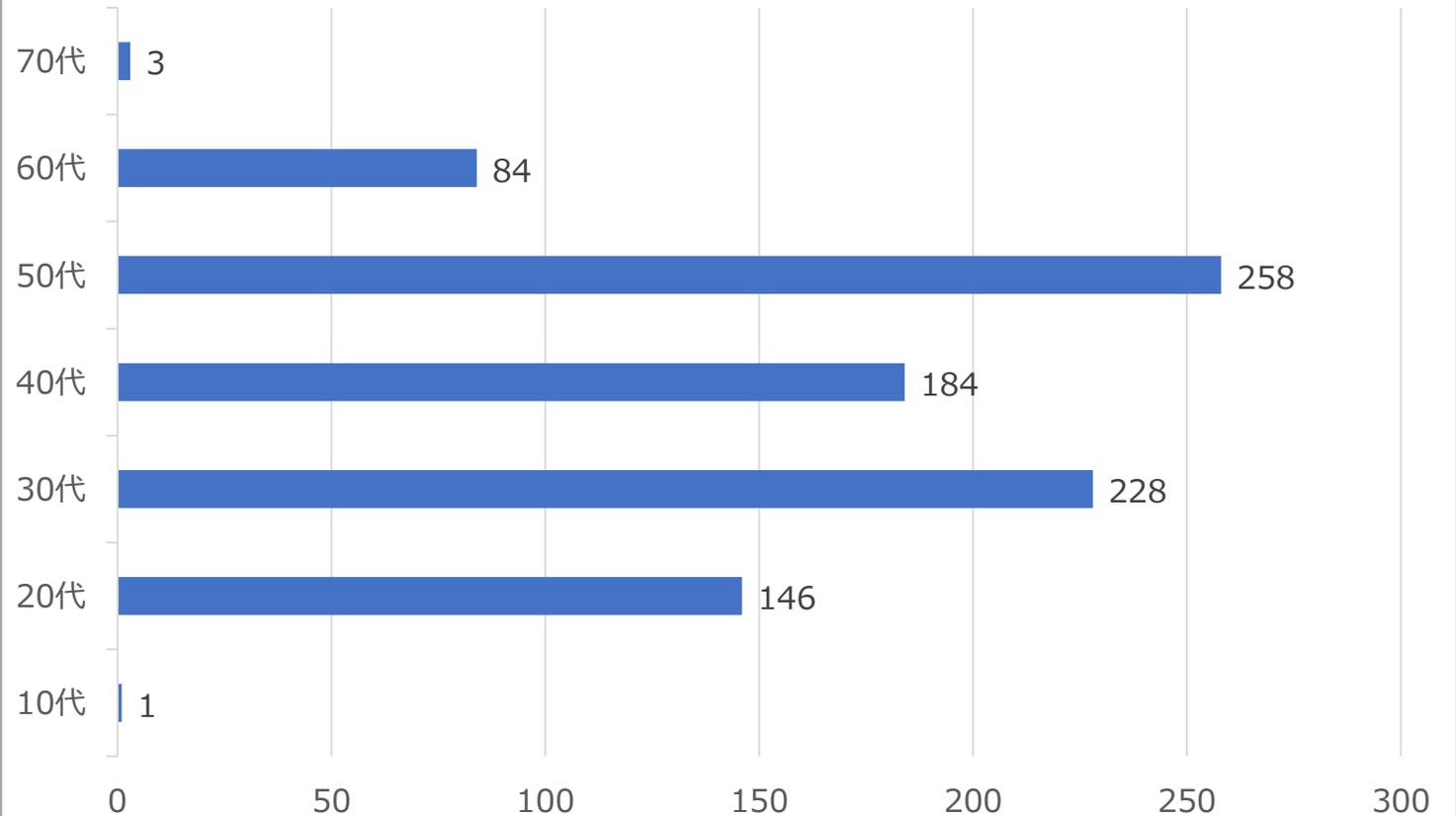
10代～70代まで904人から回答が得られた。性別割合では男性が、年齢割合では30代～50代が多くを占める結果に。

回答者数
904人

性別回答者割合



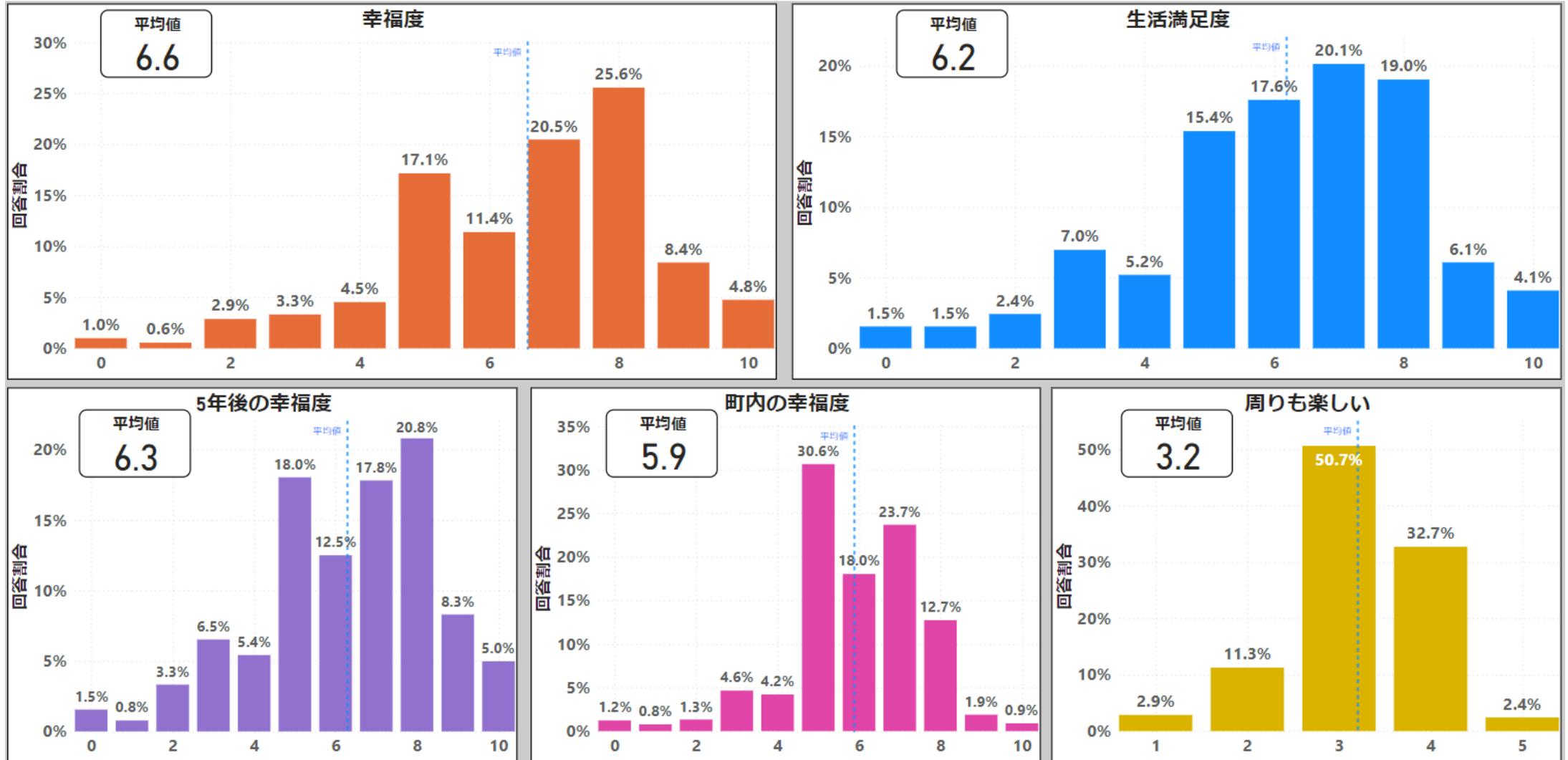
年齢別回答者数



2. 個別アンケート実施

個別アンケート 回答結果概要：総合指標

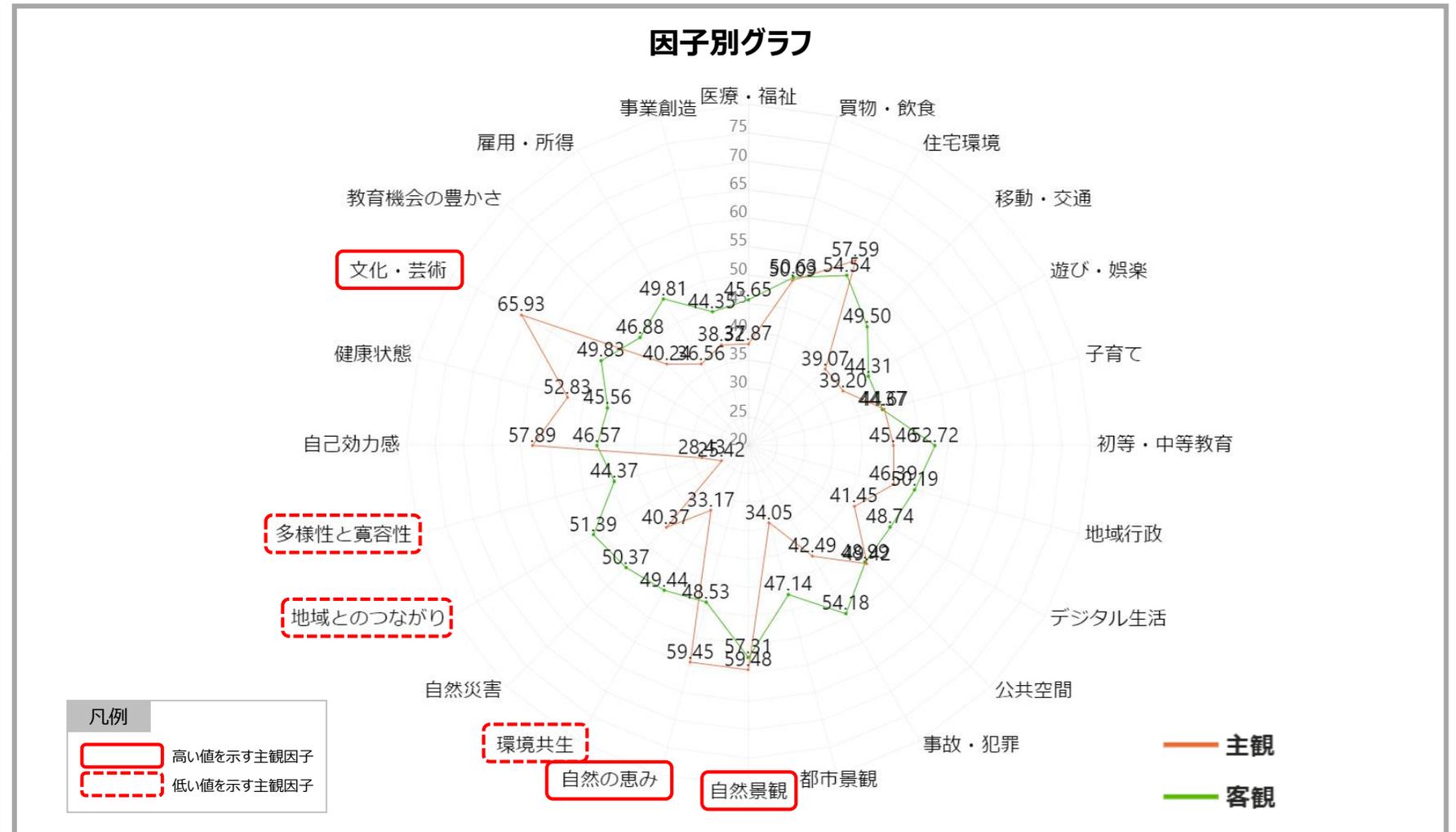
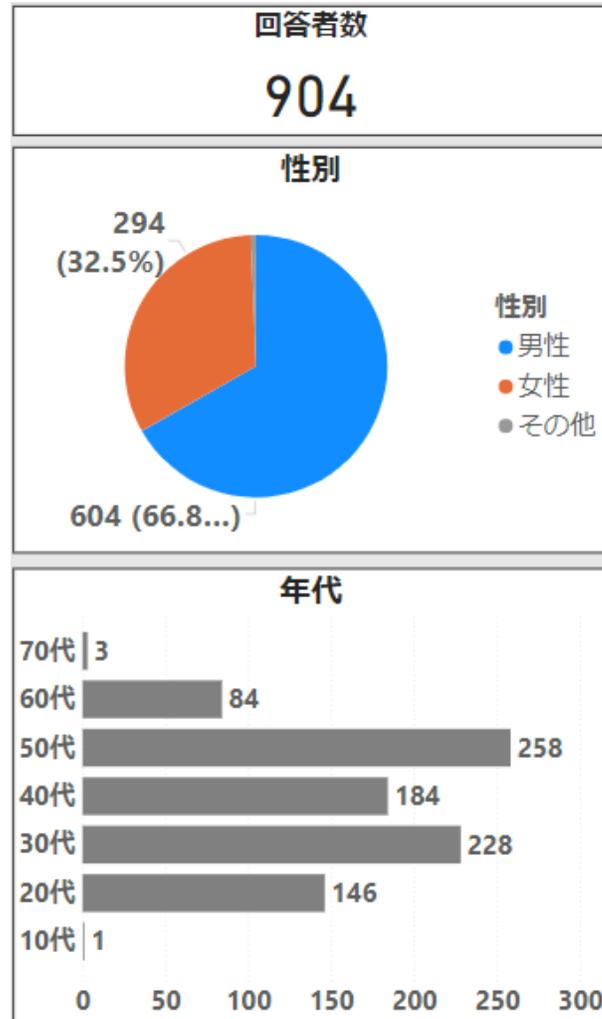
全体的な幸福度や生活満足度としては、中の上程度の数値に回答が集中しており、とても不幸・とても不満足と感じている層は少ない。



2. 個別アンケート実施

個別アンケート 回答結果概要：因子別

因子別に見ると、文化・芸術や自然環境に関する誇りが高い値を示した一方で、ワースト1位、2位を占めた「地域の人間関係」関連2因子をはじめ、24因子中17因子が偏差値50を下回る結果に。

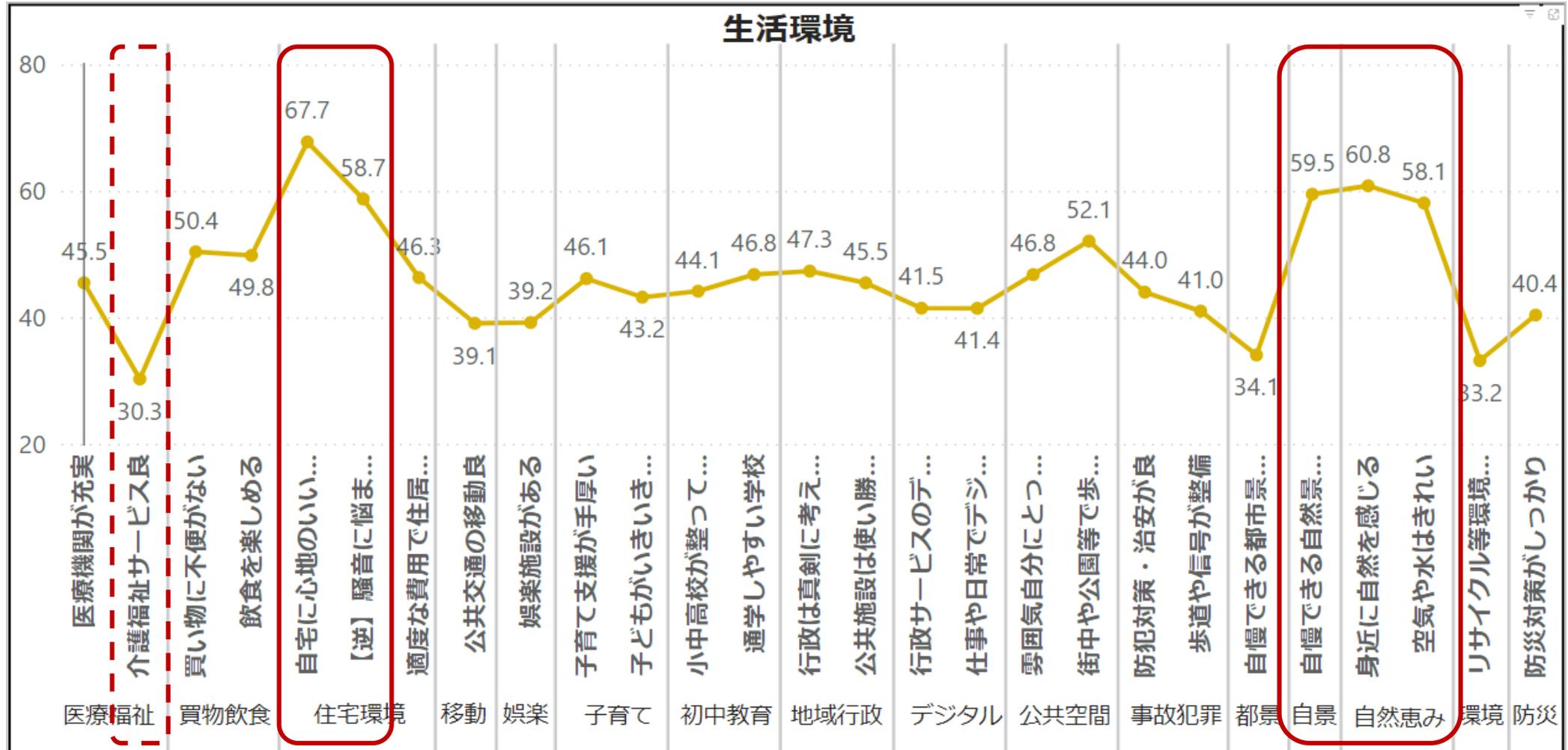


2. 個別アンケート実施

個別アンケート 回答結果概要：主観（生活環境）

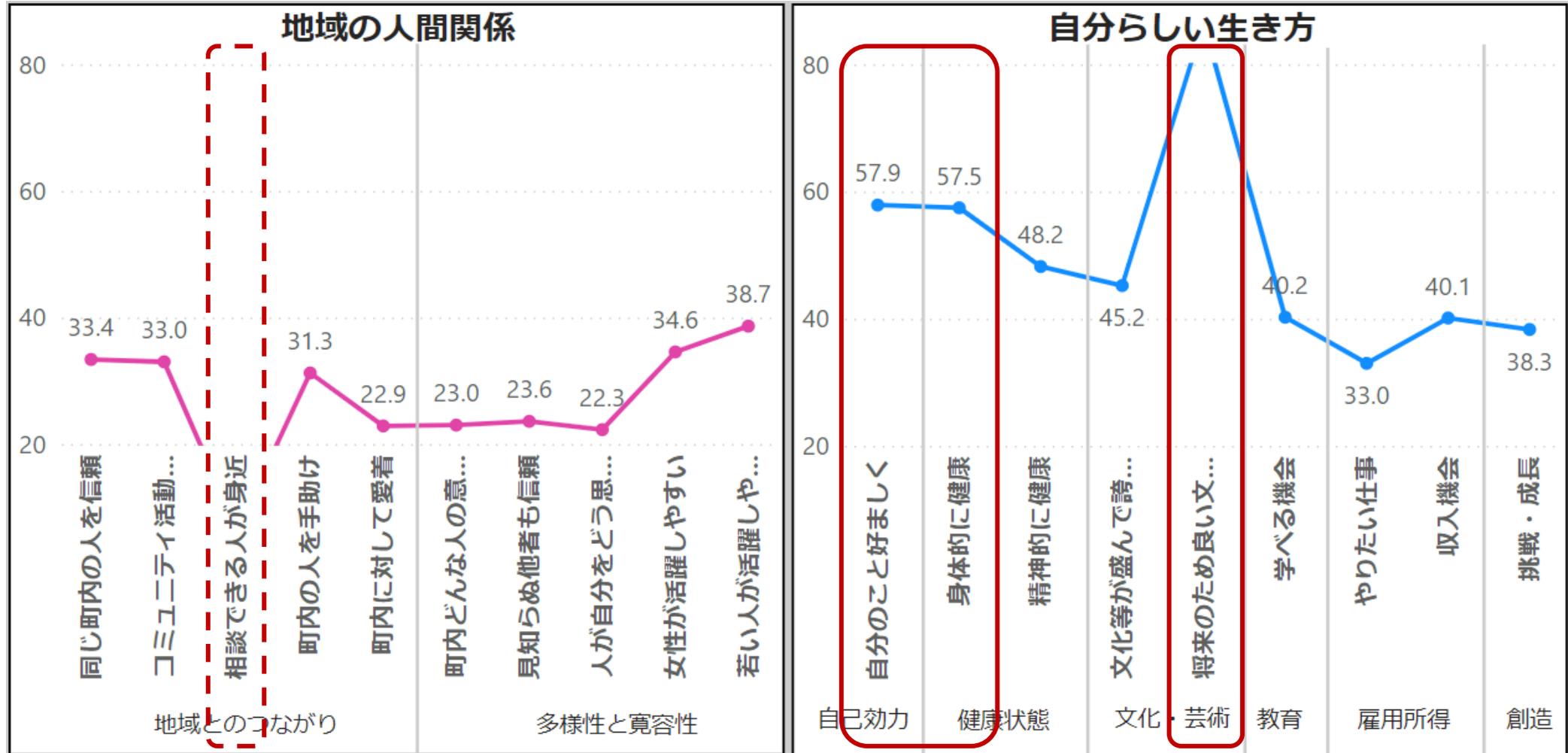
「医療福祉」の中の介護サービスの満足度が特筆して低く、デジタルサービスによる改善余地もあるものと思われる。

「自然景観」「自然の恵み」に該当する指標はバランスよく高い値であり、住宅環境の満足度も高い。



個別アンケート 回答結果概要：主観（地域の人間関係・自分らしい生き方）

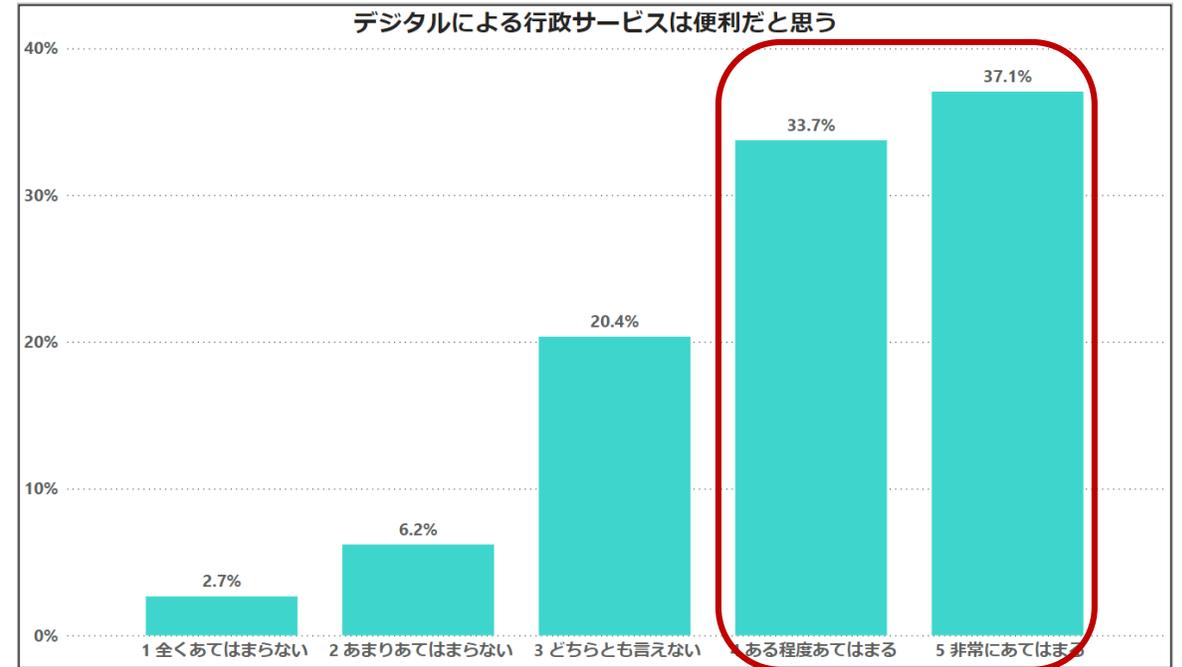
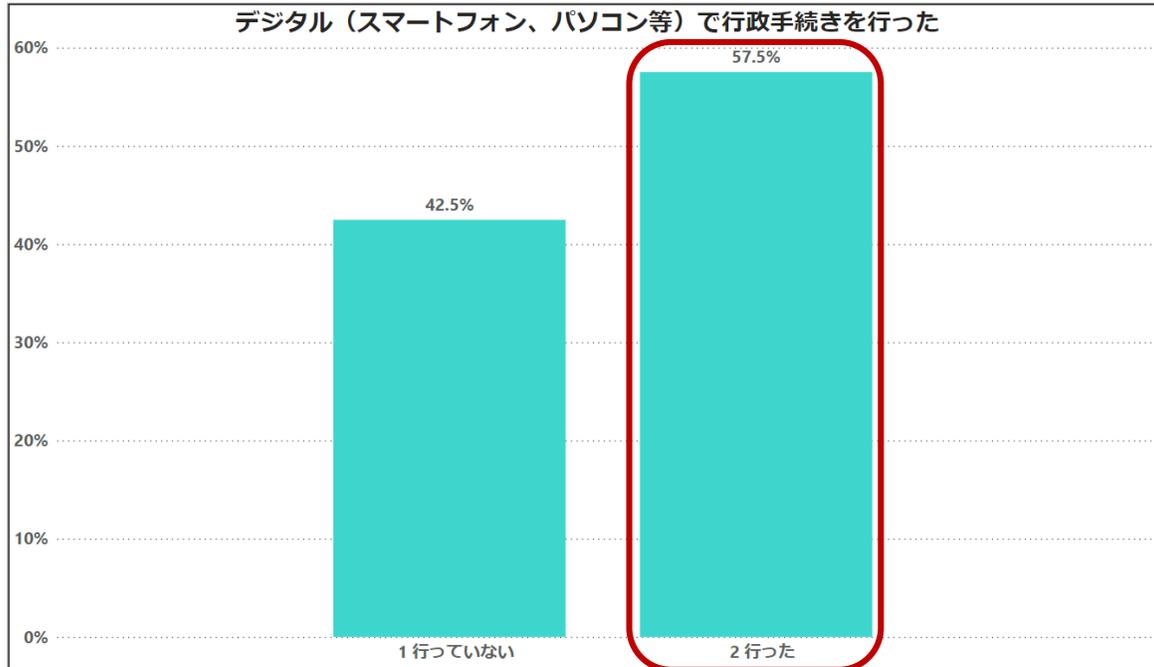
「地域の人間関係」関連指標は総じて値が低く、中でも相談できる人が身近にいるかという指標に関しては値が6.6と極めて低い。何らかコミュニティ形成に資するサービス検討が有効と思われる。「自分らしい生き方」関連指標は比較的値が高く、中でも文化の継承への意欲が高い。



2. 個別アンケート実施

個別アンケート 回答結果概要：独自設問（行政関連）

マイナポータルが登場等もあり、既に60%弱がデジタルでの行政手続き経験があることが分かった。また、デジタルによる行政サービスについても70%以上が好意的に捉えており、行政手続きに限らず継続的に行政サービスのデジタル化を行うことが求められているものと思われる。



2. 個別アンケート実施

個別アンケート 回答結果概要：独自設問（防災関連）

半数近くが既に防災アプリを活用している一方で、避難所確認・備蓄・避難計画作成等具体的な備えが出来ている人は半数を大きく下回っており、地域としての防災力も評価がつかない状況。県の防災アプリやポータルでの情報発信により、これらの数値を改善していくことが必要。

